

目標に向かって活躍する先輩職員

ご利用者や地域の皆さまを支えると同時に、職員一人ひとりの成長を支える環境が秀峰会にはあります。仕事もプライベートも大事。目標に向かって活躍する先輩職員達をご紹介します。

4年制大学 社会福祉学科卒



生活相談員やケアマネジャーといった相談職を目指して日々精進!

特別養護老人ホーム 南永田桜樹の森 ケアワーカー

T・Kさん

介護福祉士実務者研修・社会福祉士 他

特別養護老人ホームでケアワーカーをしています。日常生活における介護支援に加え、事故防止・啓発、持ち上げない介護技術に携わる委員会も担当しています。一つひとつの経験がご利用者支援や将来の目標に続いていると思います。

4年制大学 人間心理学科卒



一日一日を大切に思いながら働ける職場に出会いました!

特別養護老人ホーム さくら苑 ケアワーカー

A・Fさん

介護職員初任者研修 他

特別養護老人ホームでケアワーカーとして勤務しています。食事や入浴などご利用者の日常生活を支える仕事をしています。今年度はご利用者4名の居室担当やレクリエーション委員会、毎週金曜日に施設で行う療養音楽の担当もしています。

4年制大学 人間文化学科卒



ご利用者お一人おひとりに想いを込めた支援を届けたいです

横浜市川井地域ケアプラザ デイサービスセンター 生活相談員 兼 ケアワーカー

H・Hさん

認知症実践者研修・社会福祉士 他

デイサービスにおいて、生活相談員兼ケアワーカーとして、ご家族、ケアマネージャー等との連絡調整を行っています。これからも高齢者福祉の専門職として経験を重ね、ご利用者に寄り添える介護とは何かを考えながら、同僚たちと追求していきたいと思っています。

専門学校 介護福祉学科卒



事業所の多さ、幅広いサービス、秀峰会で様々な経験が積めます

小規模多機能型居宅介護 サービス事業部 副部長

N・Kさん

介護福祉士・介護支援専門員 他

在学中に「入社3年間の基礎力が大切」と教わり、継続的に学びの場がある会社を探していたところ、秀峰会の研修制度の手厚さや幅広さを知り、自身の希望にピッタリと思い入職を決めました。この選択が『今』を作っており、様々な挑戦に繋がっていると思います。

Q キャリアアップを目指して

昨年にフロア異動を経験し、今は副主任を目指しています。これまでのご利用者のことだけを考えて仕事をしてきましたが、これからは同僚の大事な介護観も聞きながら、それぞれの想いをより一層形にできる職場にしていきたいです。



どんな支援が必要? 介護観も大切にしていきたい!

Q 入職を決めた理由

私の入職理由は、法人理念に共感し、ご利用者の一日一日を大切に思いながら働きたいと思ったためです。施設には、ご利用者の穏やかで優しい笑顔や先輩たちの丁寧な声かけが溢れており、安心して仕事ができていると思います。



介護職員としても、社会人としても成長できる職場です

Q 秀峰会のココが凄い

学生時代から福祉の勉強はしていましたが、働くことで得る知識の方が多かったです。秀峰会では、色々な事業所・業種・研修に挑戦できる機会はとっても多いので、専門職としてのスキルアップを目指すには最適な環境だと思います。



車内は楽しく!ご利用者の安全を考えながらハンドルを握ります

Q 管理者になって広がる仕事

仕事の範囲が事業所内部だけでなく、外部の人と接することも多くなりました。他の事業所と連携して「地域のために何ができるか」考え、一緒に取り組んだり、地域スケールでの福祉の“絆”を感じるようになりました。



地域のこと、職員の成長、たくさんのやりがいがあります

秀峰会で実現する、それぞれの想い

家庭との両立!



グループホーム 銀らんの丘 ホーム長 **K・Hさん**

仕事と家庭、どちらも大切です!

ホーム長として、3人の子どもの母親として、充実した毎日を送っています。秀峰会で産前産後・育児休業を取得しましたが、周囲の理解やサポートが充実している法人なので復帰の際も安心感がありました。

子どもの行事や予定も大切



かながわキャンパスと一緒に

運動会やお誕生日会、参観日など1年を通して様々な子どもの行事・予定がありますが、お休みがしっかり取れるので安心して参加できます。

事務職でサポート!



法人本部 人財部 事務職 **E・Eさん**

現場経験を活かして本部で職員をサポートしたい

特養での5年間の介護職経験を経て、人財部に異動しました。福祉系以外の学部を卒業した私は、ご利用者の状況に合わせて素早く対応する先輩方の頼もしさに支えられ介護職の道歩んできました。これまでの経験を活かし、秀峰会の魅力を学生や求職者の方へお話ししたり、職員をサポートする縁の下の力持ちとして新たなキャリアを歩んでいます。

今も大切な、同僚の存在



一緒にいるだけで元気になります

異動してからも、前所属の施設の同僚とは励まし合ったり、行事の際には手伝いに行ったり、私にとってかけがえのない存在です。